




MGU Chapel Letter

—第 23 号 2023 年 5 月 2 日— 発行：大学宗教センター



* 2023 年度聖句 *

「あなたがたの内に働いて、御心のままに望ませ、
行わせておられるのは神であるからです。」

フィリピの信徒への手紙 2 章 13 節



❖ 5 月の大学礼拝スケジュール

【12 時 10 分～12 時 30 分 礼拝堂にて】

5 月の礼拝日程（説教者の氏名 ※敬称略）

- ・ 5 月 1 日（月） 栗原 健（大学宗教センター長）
~~~~ 連休 ~~~~
- ・ 5 月 8 日（月） 金丸 真（仙台長命ヶ丘教会牧師）
- ・ 5 月 10 日（水） 赤井 慧（尚絅学院中学校・高等学校聖書科主任）
- ・ 5 月 12 日（金） 松本 周（一般教育部准教授）
- ・ 5 月 15 日（月） 新田 恭平（日本基督教団 猪苗代教会牧師）
- ・ 5 月 17 日（水） 荒井 偉作（日本基督教団 名取教会牧師）
- ・ 5 月 19 日（金） 清水 禎文（教育学部教授）
- ・ 5 月 22 日（月） 瀬谷 寛（日本基督教団 仙台東一番丁教会牧師）
- ・ 5 月 24 日（水） 近藤 誠（日本基督教団 仙台北教会牧師）
- ・ 5 月 26 日（金） 長谷部 弘（学長）
- ・ 5 月 29 日（月） 佐々木 哲夫（学院長・宗教総主事）
- ・ 5 月 31 日（水） 佐藤 由子（日本基督教団 仙台南伝道所牧師）

\* 聖書・讃美歌をお持ちください。

## ✦ キリスト教教育特別集会（6月）が近づいて来ました

本学では毎年6月、社会で活躍されているキリスト者の方をお招きして、講演をして頂いています。今年は6月13日（火）3限に大学講堂で開催されます。講師は、人身取引問題に取り組む団体ノット・フォー・セール・ジャパン（NFSJ）の代表をされている山岡万里子さんです。「人身取引」や「奴隷」などと言うと、遠い世界の出来事のように思えますが、同様の人権侵害が日本にも存在するほか、外国における奴隷労働から私たちが利益を得ていることもあります。社会の裏の現実を知ることにより、問題と向き合う心と力を養いましょう。集会の詳細については、次号でお知らせします。

## ✦ キリスト教講座のお知らせ

5月には2回のキリスト教講座が予定されています。

第1回は5月12日（金）18時10分～19時10分。佐々木哲夫学院長が、「教派の由来：教会と学校」との題で、本学が創設された1886年に焦点をあて、仙台におけるキリスト教教育・教会の動きを説明して下さいます。場所は礼拝堂2階の部屋「ヴェリタス」で。飲み物を飲みながらのカフェスタイルになります。

第2回は5月26日（金）15時から、同じく「ヴェリタス」で。一般教育部の栗原健先生が、「ヨーロッパ最初の女性作曲家？ カシアの聖歌を聴く」との題で、9世紀にビザンツ帝国で活躍した異色の修道女カシアについて話して下さいます。彼女の作品として伝えられている聖歌もいくつか鑑賞する予定。貴重な機会ですので、お楽しみに。

## ✦ クイズ（答えは次ページ下）

まもなく「母の日」。カーネーションを贈る「母の日」の祝いは、1908年にある国のキリスト教の教会で始まりました。どこの国でのこと？

フランス

ドイツ

アメリカ

アルゼンチン



## ✦ 知らないことがいっぱい! ✦



4月に入学した1年生の方々にとって、最初の1か月の学びはどのような感じだったでしょうか。「初めて出会う知識が多くて、びっくりした」「自分が全然ものを知らなかったことに気づいた」という人も多いと思います。これは先輩の学生たちにとっても同じです。それどころか、皆さんを教えている先生がたにとっても、同じことが言えるのです。

知識が増えれば増えるほど、「自分が理解しているのは、物事のほんの一面だけなのだ。常に自分が知っているよりも大きくて、深いものがあるのだ」と痛感するようになります。古代ギリシアの哲学者ソクラテスは、「私は、『自分は知らない』ということを実感している」という「無知の知」（「不知の自覚」と呼ぶ人もいます）で知られていますが、この認識は、学びを深めて行くために不可欠ですね。聖書にも、「自分は何かを知っていると思う人がいたら、その人は知らねばならぬことをまだ知らないのです」（コリントの信徒への手紙1 第8章2節）とのタフな言葉があり、「むむむ」と思わされます。

ところで、その聖書は、知るべきこととして何を挙げているのでしょうか。それは、神は皆さん一人ひとりを大切に価値ある存在として創られ、その人生には大きな意味があること、人間は弱くて「的外れ」な行動をしてばかりですが、それでも神は人間をあきらめず、共に歩んで下さることです。聖書はこのメッセージを伝えるために書かれた書物であり、そのハイライトがイエス・キリストの十字架と復活です。

私たちは、「何か立派なことをして人に評価されたら、自分に価値が出る」と思いがちです。けれども、聖書が示すのは、「自分はすでに価値ある存在だから、何かができる」ということです。私たちは、自分自身についてすら知らないことが沢山ありますね。聖書を学びながら、自分のこと、社会のことをもっと考えて行きましょう。（栗原）



### クイズの答え

**アメリカ** 社会活動家アン・ジャービスが、亡母をしのんでウェストヴァージニア州の教会での礼拝でカーネーションを配布したのが始まり。

【連絡先】 宮城学院キリスト教センター

TEL : 022-279-9558 Email : [christ-c@mgu.ac.jp](mailto:christ-c@mgu.ac.jp)